

大会アピール

今回、「第 18 回全国男性保育者研究交流集会」は、東北初、岩手で 2 日間にわたり開催することができました。

北東北の岩手の地に、全国各地から 130 名を超える多くの参加者を迎え入れることができたこと自体、この集会の意味の深さを改めて感じるすることができました。

「保育の楽しさ再発見 ～めんこい子どもと共に～」をテーマに、澤口たまみ先生の講演、5 つの分科会を行いました。講演では「自然に触れること」を軸に「命の重さには人間も虫も関係ない」「命をつなげていく生きる者の役割」など、保育につながる最も大切な話を伺い、子どもの命に触れるこの仕事の尊さを痛切に感じました。

今回の研究集会ではオール岩手を標榜し、岩手の会員自身が日頃関心の強いもので分科会テーマを設定しました。参加者同士の積極的な意見交流があり、私たちの思いが皆さんと共有できたことが喜びであるとともに、この大会が深い学びが得られる場であることも確認できました。

懇親会終了後に行われた代表者会議において、大会のあり方について「研究」ということを視野に入れていくことの必要性が意見として出されました。今後の開催において、さらに前に進んでいくことを期待し、大会アピールといたします。

2 年後の石川大会で、また元気な姿で会いましょう。

2015 年 11 月 23 日

第 18 回全国男性保育者研究交流集会
岩手大会 実行委員長 氏家秀樹